

# 災害安全（震災）中学校 第2学年 防災教育年間指導計画（例）

## 安全教育目標

安全な生活を実現させるためのことがらを理解し、保護者や地域と、関わりながら、学校内外の安全確保に努め、自他の安全を守る行動ができる生徒の育成。

## 防災教育目標 第2学年（災害安全）

災害の基本的な特色やさまざまな危険について理解すると共に地域の避難所や家族との連絡方法を身につけている。

## 〔安全上の状況：課題〕

- ・南海トラフ地震が発生した際の想定は、最大震度6強、2分30秒から3分間の揺れが続くとされている。また、学校自体は津波の想定浸水域から外れているが、浸水域に自宅がある生徒や、浸水域を通過して登下校している生徒も少なくない。
- ・校区が広く、自宅が沿岸地域や土砂災害の危険のある地域にある生徒も多い。

## 各教科

### 社会科

地理的分野  
**【日本の様々な地域】**  
 ・地域調査の手法  
 ・日本の地域的特色と地域区分  
 ・日本の諸地域  
 ・地域の在り方

### 保健体育科

保健分野  
**【いざという時、助ける人になるために ～応急手当の意義と方法～ 7月】**  
 ・応急手当としての心肺蘇生法や止血法の知識、方法について、実習を通して理解する。（高知県安全教育プログラム）

### 理科

第2分野  
**【気象とその変化】**  
 気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する知識・技能を身に付けること。  
 ・気象観測  
 ・天気の変化  
 ・日本の気象  
 ・自然の恵みと気象災害  
 ・自然と人間

第2分野  
**【大地の成り立ちと変化】**  
 大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、次のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する知識・技能を身に付けること。  
 ・身近な地形や地層、岩石の観察  
 ・地層の重なりと過去の様子  
 ・火山と地震  
 ・自然の恵みと火山災害・地震災害

## 総合的な学習の時間

### 【地域防災リーフレットを作ろう 全20時間】

津波被害に対する住民の目から見た防災リーフレットづくりを通して、防災に対する知識・技能を身につけ、災害の際に自分のとるべき行動を的確に判断し行動するとともに、防災への意識を向上させ、自分の命を守り、自分たちも地域の一員して地域を守るという意識を育成する。

【課題設定】・防災学習のゴールの設定を行う。今後の計画をたてる。

【情報収集】・専門家からの情報収集を行う。地域のフィールドワークを行う。

【整理分析】・自分達のテーマに沿った防災リーフレットを作成する。

## 特別活動

### 学校行事

#### 【1学期】

- ・地震津波避難訓練・修学旅行
- ・防災オリエンテーリング
- ・心肺蘇生（全学年）
- ・中学校区防災訓練

#### 【2学期】

- ・シェイクアウト訓練
- ・火災避難訓練
- ・地震津波中学校区合同避難訓練（津波防災の日）

#### 【3学期】

- ・防災学習～中学生の私たちにできることは何か考える（各学年・生徒会から発表）

### 学級活動

【修学旅行先で地震発生！その時、あなたは？～いつ、どんなときでも命を守る～ 4月】  
 ・日頃の学校生活と違う場面で、地震等自然災害に遭遇した際の安全確保について理解を深める。（高知県安全教育プログラム）

【「警報」「注意報」の違いって？～情報の正しい理解の活用 6月】  
 ・防災に関する情報の入手方法を知るとともに、防災に関する情報を正しく理解することの重要性を理解する。（高知県安全教育プログラム）

小学校での防災教育の基礎